

こどもセルフケア看護理論

片田篤子 編
本体 3500 円＋税
医学書院

こどもの主体性を尊重したケアを目指し、オレムのセルフケア不足看護理論を基盤にした理論。こどもは常に誰かに「依存」するのではなく、「補完」されると捉えたことが特徴。理論の概要、看護支援の実際、理論を活用した実践例、理論構築に至る過程を含め詳説。



夫婦のミゾが埋まらない 産後にすれ違う男女を変える パートナーシップ学

渡辺大地 著
本体 1150 円＋税
KADOKAWA

『助産雑誌』でおなじみの著者が、夫婦のパートナーシップの築き方を解説。産後クライシス期だけでなく、どんな時でもすれ違いは起きる。そのミゾが修復不可となる前に、夫婦で「すりあわせる」ことが大切だと説く。家族の問題を乗り越えるためのヒントが満載！



現役助産師がすすめる 妊婦とベビーと新米ママのための アロマセラピー&ベビーマッサージ

カーティー菅田倫子 著
本体 1800 円＋税
ガイアブックス

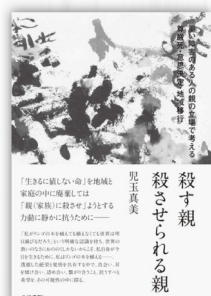
「アクエリエル京都」を拠点に活躍する著者による、アロマセラピーとベビーマッサージの実践書。基礎知識から芳香成分の働きをレクチャーすると共に、改訂版では、より使う精油とその効果を9種類追加し、掲載情報を更新。愛情あふれる触れ合いと香りに包まれて過ごせる情報が充実。



Nursing Today ブックレット 無痛分娩と日本人

田辺けい子 著
本体 750 円＋税
日本看護協会出版会

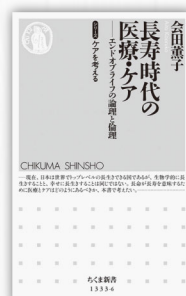
無痛分娩への評価は、「出産に伴う痛み」に対する考え方や文化に影響される。本書は、無痛分娩の歴史と現状を概観した後、それぞれの立場にある当事者の体験を分析し、これからの医療やケアのあり方を提示する。助産師はもちろん、非医療職にも読んでほしい内容。



殺す親 殺させられる親 重い障害のある人の親の立場で考える 尊厳死・意思決定・地域移行

児玉真美 著
本体 2300 円＋税
生活書院

重症心身障害の娘をもつ著者が、医療と死をめぐる意思決定の問題や無益な治療論、親であることについて、当事者の視点から思いをつづった本書。「助けて」と言えずに地域や家庭で頑張り続けている親(家族)に対し、いま、社会や専門職がすべきことを問い掛ける。



シリーズ ケアを考える 長寿時代の医療・ケア エンドオブライフの論理と倫理

会田薫子 著
本体 900 円＋税
筑摩書房

人生の最終段階において、患者がよりよく生きるために、医療やケアはどうあるべきか。本書は、その問いに臨床倫理学や老年医学の観点から迫る。幸せに長生きするには何が課題か、高齢者の人生を支えるために医療者として何ができるかを考えさせられる1冊。